

ADVANCE

TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE

豊田工大だより 2011. July

Vol. 83



南門と新入生たち

Contents

Topics1 瀧本正民トヨタ学園新理事長のあいさつ	2
Topics2 アクセス向上 (地下鉄 & 高速道路の新規開通)	3
Topics3 2010 年度卒業・修了式、2011 年度入学式	4 ~ 6
Topics4 大学院 GP シンポジウム開催.....	7
Topics5 特集：アジアの留学生が見た日本人と豊田工業大学	8 ~ 11
こんにちは、先輩!.....	12 ~ 13
News File	14 ~ 16

- 先端フロンテクノロジーセンターシンポジウム開催
- 中部地区ナノテクノロジー・ネットワーク総合支援事業の成果報告会開催
- 受賞
- 東日本大震災に対する本学の対応状況

- 中国語授業開始
- 正面玄関に電子掲示板の設置
- 人事紹介
- 『大学ランキング2012(朝日新聞出版)』で高評価
- 売店「天樹 TENJU」オープン 1 周年

おかげさまで
開学 30 周年

豊田工業大学は 2011 年 1 月 16 日に
創立 30 周年を迎えました。
これもひとえに皆様のご支援の賜物
と心よりお礼申し上げます。

トヨタ自動車(株)元副社長、(株)豊田中央研究所 代表取締役の 瀧本正民氏が学校法人トヨタ学園の理事長に就任

このたび豊田達郎理事長の退任に伴い、6月8日の理事会において瀧本正民氏が本学園の理事長に就任することが決定した。なお、豊田達郎前理事長は、名誉理事長(理事)として、大所高所から本学園運営にご尽力頂くこととなった。



学校法人トヨタ学園
理事長 瀧本 正民

【生年月日】
1946年1月13日(65歳)

【学歴】
1970年3月 京都大学大学院
工学研究科修士課程修了

【経歴】
1970年4月 トヨタ自動車工業株式会社
(現トヨタ自動車株式会社)
入社
1999年6月 同社 取締役就任
2002年6月 同社 常務取締役就任
2003年6月 同社 専務取締役就任
2005年6月 同社 取締役副社長就任
2009年6月 同社 相談役就任
株式会社 豊田中央研究所
代表取締役 就任
2011年6月 学校法人トヨタ学園
理事、評議員就任
(6月1日)
2011年6月 学校法人トヨタ学園
理事長就任(6月8日)

ごあいさつ

このたび学校法人トヨタ学園の理事長に就任いたしました瀧本正民です。

基本的には、これまでの13年間にわたる豊田達郎前理事長の方針を踏襲して、学校法人の運営に取り組んでまいりたいと考えています。教職員、学生はもとより関係各位のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校法人トヨタ学園 豊田工業大学は、1981年に社会人の大学として産声をあげてから30年が経過しました。この間、社会の要請に応え、1984年大学院修士課程の開設、1993年新規高卒者の受け入れ開始、1995年には大学院博士課程を創設し、更に2003年にシカゴ校を開校するなど、関係各位のご支援のもと、たゆまぬ変革を遂げてまいりました。小規模であることを強みとして、特色ある、充実した教育・研究体制を確立し、社会に有用な教育と研究活動が活発に行われており、喜ばしく思っています。

昨今ではこの様な取り組みの結果が社会から高く評価頂くようになり、教職員をはじめとする関係各位のご努力とご協力に対し、敬意と謝意を表したいと存じます。

また、これまでに社会に巣立った卒業生も2,000名を超える数となり、それぞれ産業界や教育界などで要職を占めておられ、在学生

の大きな励みとなっております。今後、卒業生の皆さんが、社会においてますます活躍されることを期待しております。

さて、日本の大学を取り巻く環境は、少子高齢化による18歳人口の減少をはじめ、情報化、国際化の進展など、対応を誤ると取り返しのつかなくなるほど厳しいものがあります。

私どもには、こうしたスピードの速いさまざまな変化にタイムリーに対応していける柔軟性とそれに負けない強靱な体質が求められています。

教員と職員、そして学生が三位一体となって新しい豊田工業大学をつくり、社会をリードする優秀な学生の輩出と豊かな未来を創造する高度な研究の推進に邁進していく所存です。

最後になりましたが、豊田工業大学の初代学長でありました長尾不二夫先生は、偶然にも私の大学時代の恩師で、私は長尾先生の最後の弟子にあたります。30年経って、長尾先生をはじめとする創立初期の皆様が基盤を築かれたこの大学の運営に携われることとなり感無量の思いです。ご関係の皆様方の変わらぬご支援を頂き、精一杯務めてまいりたいと思っておりますので、よろしくご指導とご協力のほどお願い申し上げます。

学校法人トヨタ学園役員一覧(敬称略)

名誉理事長	豊田 達郎	トヨタ自動車(株)	相談役
理事長	瀧本 正民	(株)豊田中央研究所	代表取締役
常務理事	柏原 正則	学校法人トヨタ学園	法人事務局長
理事	井上 博允	東京大学	名誉教授
	今井 敬	新日本製鐵(株)	名誉会長
	加藤 伸一	トヨタ自動車(株)	顧問
	金原 淑郎	トヨタ自動車(株)	顧問
	齋藤 明彦	(株)デンソー	相談役

2011年6月8日現在

理事	榊 裕之	豊田工業大学	学長
	下村 節宏	三菱電機(株)	取締役会長
	染谷 常雄	東京大学	名誉教授
	豊田 英二	トヨタ自動車(株)	最高顧問
監事	豊田 章一郎	トヨタ自動車(株)	名誉会長
	上垣外 修己	豊田中央研究所	元代表取締役所長
	後藤 貞明	後藤貞明公認会計士事務所	所長
	松尾 邦弘	トヨタ自動車(株)	監査役

アクセス向上 ~地下鉄と高速道路ダブルでオープン~

名古屋のベッドタウンとして、大規模住宅地が多く、近年新しい街づくりが進められている名古屋市南東部エリア。昨年の公示地価においても、全国1位の上昇率と注目度と利便性の高まるこのエリアに立地する本学にとっても、そのメリットは大きい。地下鉄の新駅、高速道路などの開通に伴い、各方面からの本学へのアクセスが飛躍的に向上することになった。地下鉄・高速道路それぞれのアクセスについて紹介する。

地下鉄 ~桜通線 相生山駅開通~ 名古屋駅から乗り換え無しで 約40分でのアクセスが可能に。

3月27日(日)、本学の南西約600mの場所に、名古屋市営地下鉄 桜通線が延伸*され、相生山駅が誕生した。これまで名古屋駅から本学までは、地下鉄・バスと乗り継いで計1時間程度かかっていたが、同駅の開通により、乗り換えなしで約40分でのアクセスが可能となる(地下鉄乗車約30分、徒歩約10分)。

同線の延伸は、教職員の通勤、出張などにおいてはもちろんのこと、学生にとっても、通学範囲が広がることに加え、連携先である南山大学(名古屋市昭和区)、愛知大学(2012年より名古屋市中村区)への移動も容易になり、一層の連携強化が期待される。

また、同駅の開通に合わせて本学の南側に南門を新規に設置し、利用者の利便性を向上した。

*名古屋市営地下鉄 桜通線延伸

天白区野並から緑区徳重までの4.1キロ分を延伸。同間には、鳴子北—相生山—神沢—徳重までの4駅を新たに設置。開発著しい緑区方面の利便性向上と野並地区の交通渋滞の緩和に期待が集まる。



南門開通式



各地から本学への交通アクセス



相生山駅・鳴海ICからのアクセス



高速道路 ~本学近くに鳴海ICが誕生~

名古屋ICはじめ、各方面からのアクセスが向上

3月20日(日)、名古屋南JCT—高針JCT間を結ぶ高速道路名古屋第二環状自動車道(名二環)が開通した。本学近く(南東)には、鳴海ICが新たに誕生。

これらにより、東名高速道路、東名阪自動車道、伊勢湾岸自動車道などを利用しての各方面からの本学へのアクセスが向上した。



緑区黒沢台交差点より名二環をのぞむ(本学は左手方面)

目指せ、国際産業リーダー ～学部 74 名、大学院生 43 名が卒業・修了～



エールを送る榎学長



2010 年度 学部卒業式・大学院学位授与式が、3月22日(火) 本学講堂において挙行された。工学部卒業生は74名(JABEE 専修コース40名、総合コース34名)、大学院工学研究科(修士課程)修了生は41名。

式の冒頭に3月11日に発生した東日本大震災の被災者に対する黙とうがさげられた。その後、卒業生、修了生全員が紹介され、卒業証書・学位記が榎学長から、各代表(澤田貴裕君【愛知県立半田高校出身】、小高加菜さん【国立鈴鹿高等専門学校出身】、本多貴彦君【静岡県立清水東高校出身】)に手渡された。

同時に、2010年度に博士学位を取得した榎野雄矢さん、Bouzazi Boussairiさん(チュニジア出身)の2名について、学位取得論文題目と併せ紹介された。

このあと学長が『皆さんは豊田佐吉翁のスピリットを受け継いだ本学で学びの方法を身に付けた。また、技術者、研究者として持つべき使命感、生き人生を送るための知的・精神的基盤をも身につけてきた。自信を持ち、果たすべき任務にひるむことなく、課題に立ち向かって欲しい。一方で社会にどう貢献出来るかについての考えも深め、自らの使命をも見出し出して欲しい。一段と高い存在へ成長し、職業人、一市民としての活躍を祈念』と卒業生にエールを送った。

続いて、来賓を代表して、トヨタ自動車株式会社 代表取締役副社長 新美篤志

氏、株式会社小糸製作所代表取締役社長 大嶽昌宏氏から祝辞を頂いた。

新美氏は、『我が国は、少子高齢化、環境、自然エネルギーなどの構造的問題を抱えている。大震災からの早期復興、超円高などをも乗り越え、新たな成長戦略に取り組むことが必須。環境保全と安全、安心な社会を目指した技術革新と制度改革を進めていく挑戦こそが、日本の進むべき道である』と述べられ、『何事にもひるまず、挑戦する技術者や研究者となり、世界中から望まれ、愛される技術や商品を開発して欲しい。高い志と、世界に比類のない技術革新と生産性革新を通じて、我が国の未来を信頼と活力のあるものにしていくべく、尽力頂きたい』と激励の言葉で結ばれた。

大嶽氏からは、『新たな成長のために日本企業が、更に発展していくには、日本の優れた「ものづくり」を強化し進化、イノベーションの主導権を持ちつづける事が不可欠。日本の「ものづくり」の強みは、現場重視の生産技術と、品質・コスト・労務などの総合マネジメント能力であり、これらを更に磨くには、チームワークの強化、即ちコミュニケーションの重要性が高まっていく。地球規模での事業展開には、異なる文化、言語間のコミュニケーションが必須。語学だけではなく深い教養と見識をベースとしたグローバルな視点と物事に果敢にチャレンジする高い意欲があればこそ伝わる。一日も早く

次世代を担う主役となり「ものづくり日本」の大いなる発展に貢献して欲しい』との期待の言葉が贈られた。

それを受け卒業生を代表して近藤恵美子さん【トヨタ自動車出身】から、『この先、大きな困難にぶつかっても、大志を胸に立ち向かって行きたい。そして、自分が得た力を社会へ還元し、更に大きな力へと育てることが出来る人間になりたい』と述べ、修了生を代表して田中友博君【岐阜県立大垣南高校出身】から『足元の課題を疎かにせず、修士課程で得た多くの教えと経験を糧に乗り越え、強い信念と自信を持ち、それぞれの道を歩みたい』と新たな一歩を踏み出す決意を表した。なお、今年度の豊田奨学基金賞(人物・学業成績共に特に優秀な卒業生に贈られる賞)は、学部は松尾菜実子さん【私立佐賀清和高校出身】、修士は松岡佑樹君【兵庫県立姫路西高校出身】に贈られた。また、日本機械学会から贈られる畠山賞(学部生対象)三浦賞(修士生対象)は、それぞれ澤田貴裕君【愛知県立半田高校出身】、宇都宮仁君【愛媛県立松山東高校出身】へ授与された。式典後、卒業生は、佐吉翁胸像の前で記念撮影、卒業生主催の謝恩会とリラックスした表情で大学生活の最後のひとときを過ごした。

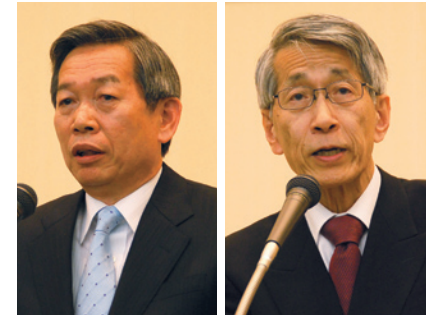
2011年度卒業・修了生の進路状況はP.6



トヨタ自動車株式会社 代表取締役副社長 新美篤志氏 小糸製作所株式会社 代表取締役社長 大嶽昌宏氏



未来の国際産業リーダー、ここに集う。～144名が入学、熱い思いを胸に、それぞれのスタート～



柏原正則常務理事 榎裕之学長

4月1日、2011年度入学式が挙行された。2011年度の入学者は、学部105名、大学院修士課程34名、同博士後期課程3名。また、台湾の國立中興大学からのダブルディグリー学生(修士)2名も出席した。式では、榎学長が『本学の最大の誇りの一つは、豊田佐吉翁を始めとする先人達の志を受け継ぎ、それを建学の理念としていること。佐吉翁の言葉「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」には、困難を乗り越え、研究と創造に打ち込んで来た深い思いが込められていることを心に留めて欲しい。また、この国全体の困難に際し、大学で学ぶことの意味、社会に貢献することの重要性を今一度考え、より良い社会とするきっかけにして欲しい。大学から提供される種々の素材や機会を活かすのは、自分次第。自分を律する力や他者への思いやりを磨き、人格と学問を深めて欲しい。その一方で、享受するだけの存在でなく、本学の価値を高める主体的な役割も果たす貴重な一員であることの自覚を持って欲しい。

勉学は、高等学校と比べて遥かに深く学ぶことで、真に理解することの難しさを知り、深く考えることにより、本質的な理解や問題の解決に至ることが出来る。この知的喜びを実感して欲しい。一方で、研究は、創意工夫や発見を通じ、意義あるものを付加する営み。長時間の努力と工夫を要するだけに、粘り強い取り組みが不可欠。本学の恵まれた研究環境を活かし、方法論の習得と創造力の育成に努

め、世界の工学を切り拓くリーダーとして活躍するための基盤を築いて欲しい。

若さに恵まれ、知力、体力、感受性にも恵まれた時期に、自分自身の意志に従って、多くを学び、経験する機会が与えられている。本学で実り豊かな日々を過ごすことで自身の人生観や世界観や歴史観を養い、広い立場で活躍する人材に育つこと祈る。』と励ましの言葉を送った。

続いて柏原正則トヨタ学園常務理事より、『トヨタ自動車をはじめ、多くの企業からの支援により築いた産業界と太いパイプは、他大学には無い大きな財産。佐吉翁の発明と進取の精神、アカデミックな専門性、産業界におけるものづくりの実践、これらを三位一体で教育、研究することが本学の大きな特徴。この豊田工業大学のDNAを引き継いで欲しい。産業構造や研究領域の複合化、融合化のみならず、国際化へも対応出来る単なるテクニックではない本物の「実践力」を磨き、『世界で戦える個性豊かな技術者』即ち『国際産業リーダー』に育って欲しい。大学もその仕組みづくりへの労は惜しまない。』と述べ、『自分で考え、自分で行動した結果、失敗や、悩みがあるときには、それをフォロー出来る本学の面倒見の良さに安心して身を委ねて欲しい。自分の目指す将来に向かって思い切り若いエネルギーをぶつけ、悔いの無い大学生活を送って頂きたい。』とエールを送った。

また在学生を代表して学生会会長の白

石裕次郎君【国立大島商船高等専門学校出身】は、『勉学面から私生活まで相談にのってくれるアカデミックアドバイザー制度、寮生サポーター、学習サポーターなど先輩学生によるフォロー制度などを有効に活用し、有意義な学生生活を送って欲しい。』と歓迎した。これらに応え、学部、大学院新入生を代表として竹村 郁輝君【岐阜県立岐阜北高校出身】と室村 亮太君【大阪府立住吉高校出身】が、それぞれ誓いの言葉を述べ、教職員の見守る中、新入生は、豊田工業大学で始まる新しい生活に力強いスタートをきった。

【産業技術記念館を見学】

翌日の4月2日(土)には、新入生110名が、名古屋市西区にあるトヨタテクノミュージアム産業技術記念館を見学した。

豊田佐吉翁が自動織機開発のための実験工場を開設した地に建てられた同館。この施設見学は、昨年度に採択を受けた就業力育成支援事業(就業力GP)「企業と創る自立型人材育成プログラム」の取り組みとしてスタートする授業科目「工学スタートアップセミナー」の一環として位置づけられている。新入生からは「豊田佐吉翁の探究心と情熱を感じた」「技術者の気概と心構えを感じた」との感想が聞かれた。

2011年度入試状況はP.6



産業技術記念館見学の様子

2010 年度卒業・修了生の進路状況

1. 卒業・修了生の進路(就職は内定状況)

	学部		修士課程		博士後期課程		
	社会人	一般	社会人	一般	社会人	一般	留学生
卒業・修了	21(9)	53(65)	2(2)	41(28)	1(3)	0(2)	1(2)
満了					1(1)		
企業復帰	21(9)		2(2)		2(4)		
就職		18(28)		38(25)		0(2)	
進学		34(37)		3(3)			
その他(帰国など)		1(0)					1(2)
計	21(9)	53(65)	2(2)	41(28)	2(4)	0(2)	1(2)
	74(74)		43(30)		3(8)		

()は昨年実績人数。2010年9月末卒業・修了者を含む

2. 一般学生の就職先一覧

企業名	学部 (18人)		修士 (38人)		【参考】累計就職先上位30社(95年~)					
	会社名	人数	会社名	人数	会社名	人数	会社名	人数		
企業名	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	4	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	4	(株)豊田自動織機	1	トヨタ自動車(株)	49	愛三工業(株)	8
	トヨタテクニカル ディベロップメント(株)	3	トヨタ自動車(株)	3	名古屋市職員	1	本田技研工業(株)	33	スズキ(株)	7
	矢崎総業(株)	2	(株)デンソー	2	日本電産(株)	1	(株)豊田自動織機	32	(株)トヨタ コミュニケーションシステム	7
	アイシン精機(株)	1	トヨタ紡織(株)	2	ノックス電子(株)	1	(株)デンソー	31	トヨタテクニカル ディベロップメント(株)	7
	ASTI(株)	1	アイシン精機(株)	1	日立オートモティブ システムズ(株)	1	アイシン精機(株)	26	日野自動車(株)	7
	(株)協豊製作所	1	(株)協豊製作所	1	(株)日立グローバル ストレージテクノロジーズ	1	矢崎総業(株)	20	日産自動車(株)	6
	(株)小糸製作所	1	(株)小糸製作所	1	(株)日立物流	1	(株)エイテクト	15	中央発條(株)	6
	シュルンベルジュ(株)	1	光洋サーモシステム(株)	1	(株)日立物流	1	トヨタ紡織(株)	12	(株)東芝	6
	(株)豊田自動織機	1	(株)シーテック	1	日野自動車(株)	1	ダイハツ工業(株)	11	(株)日立製作所	6
	日野自動車(株)	1	スズキ(株)	1	ブローゼジャパン(株)	1	豊田合成(株)	10	デンソーテクノ(株)	5
	森永乳業(株)	1	セイコーインスツル(株)	1	本田技研工業(株)	1	トヨタ車体(株)	10	日産自動車(株)	5
	レッドフォックス(株)	1	中部増成機械工業(株)	1	三菱重工業(株)	1	フタバ産業(株)	10	住友電気工業(株)	4
			デンソーテクノ(株)	1	ヤマザキマザック(株)	1	三菱電機(株)	10	ソニーイーエムシーエス(株)	4
			(株)東芝	1	レジェンダ	1	キヤノン(株)	9	(株)ファイナシンター	4
			豊田工業大学(研究員)	1	コーポレーション(株)	1	日本精工(株)	9		
			豊田合成(株)	1			パナソニック(株)	9		

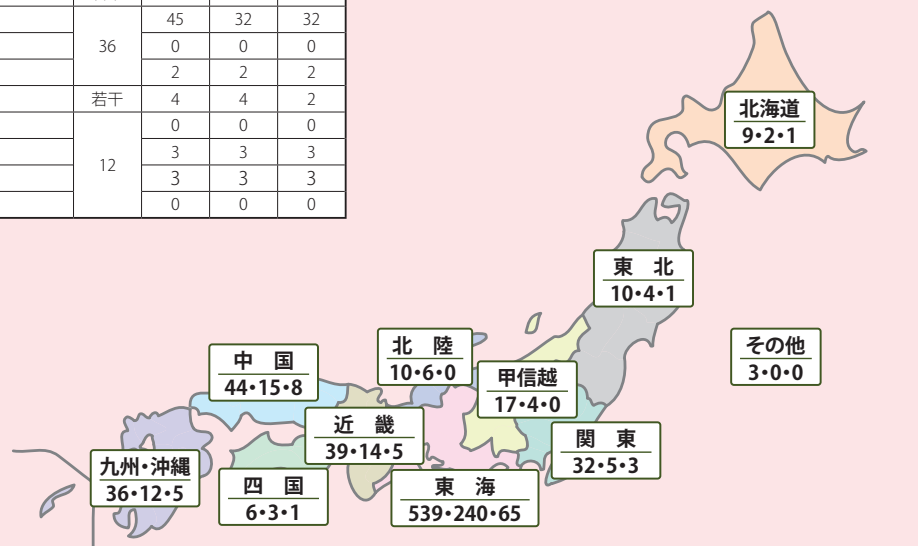
2011 年度入試状況

1. 入試結果

学部	募集人員	志願者	合格者	入学者	
工学部	一般入試	50	745	305	89
	社会人入試 (内編入学試験)	30	13	11	11
	工業高等専門学校卒業予定者を対象とする編入学試験	若干	(若干)	(3)	(2)
	専門学校特別推薦入試(公募制)	若干	7	6	4
	「サイエンス・ラボ体験コース」修了者対象推薦入試	若干	2	1	1
	外国政府派遣留学生特別選抜推薦入試	若干	2	2	0
大学院 修士課程	一般入試		45	32	32
	学部3年次対象特別選抜入試	36	0	0	0
	社会人入試		2	2	2
大学院 博士 後期課程	ダブルディグリー-留学生入学資格審査	若干	4	4	2
	夏季入試		0	0	0
	冬季入試		3	3	3
	外国人 追加入試		3	3	3

【入試担当者が語る2011年度入試結果】

2011年度入試の志願者数は、前年を100名以上も上回る結果となった。大学生の厳しい就職状況が報じられる中、産学一体となった実学教育や高度な研究環境などにより、開学以来就職決定率100%を達成している点に受験生およびその保護者の皆様に関心を頂いていることが大きな要因と考えられます。



2. 工学部一般入試出身高校所在地別データ

東海地区を県別に見てみると… (人)

地区	志願者	合格者	入学者
愛知	383	169	43
岐阜	82	39	6
三重	42	17	9
静岡	32	15	7
合計	745	305	89

大学院 GP 最終報告シンポジウム開催 ~3年間の成果を披露~

大学院への実学教育導入を考える

3月9日(水)、名古屋国際会議場(熱田区)において『実学の積極的導入による先端的工学教育』に関する最終報告シンポジウムを開催し、学内外から約130名が参加した。

本シンポジウムは、2008年度に文部科学省『組織的な大学院教育改革プログラム(大学院GP)』の採択(2008年度-2010年度)を受け、3年間にわたる大学院教育の取り組み成果を披露、今後の活動の発展につなげることが目的。

シンポジウムは、大学院教育においても実学を重視する先端的実学教育を考えるもので、国内外の企業、研究機関、大学などのインターンシップやオンライン授業関連機関からの事例発表があった。また、特別講演Iとして、Patricia Gercik マサチューセッツ工科大学 JAPAN プログラムディレクターより、25年間の実績を有するMIT インターンシップ制度や国際的科学技术戦略プログラムについて講演。多くのMIT学生が、プログラムを利用して日本でのインターンシップを経験し、その後のキャリアアップにつなげていることを具体的事例と共に紹介。日本への派遣にあたっては、日本語のみならず、日本文化に関する教育を行うなど、その徹底したフォロー体制についても説明。一方で、最近のアジア地区での派遣先の第一位は、中国に移っているとの現状も報告された。



大学院 GP シンポジウム関係者一同

要な役割を担っているかなど、産業界からの大学院教育への期待が語られた。次世代自動車の開発などを例に、研究開発や技術開発などの各リーダーに必要な素養として「IQ」と「EQ」の2点が挙げられた。深い知識と経験に基づく確固たる「コア技術」としての「IQ」。プロジェクトを推進する「熱い情熱」と「関係者を惹きつける魅力」である「EQ」。これらを養うためにも、大学院教育では、幅広い専門知識と専門外知識、世界に広がる人的ネットワーク、幅広い想像力を身につけて欲しいと述べ、「夢と未来を語り、創造出来るのは技術者のみである」と講演を締めくくられた。

今後も大学独自のプログラムとして継続

この教育プログラムは、大学院教育における座学中心の受け身の教育から、実学教育を積極的に導入した新しい大学院の教育を目指す内容。修士課程、博士後期課程の学生に先行調査や研究の動機づけ基盤づくりを身につけさせることを目的とした『フィールド調査』科目や、産業界の技術ニーズを学び、リーダーのロールモデルを身近に体験し課題発見、問題解決能力を育成する『学外実習』科目などの実学科目などから成る。学外実習では、3年間の累計で44名の大学院生が学んだ。2011年度以降も、若干の変更を加えつつ国内外の関連機関の協力を得ながら、大学独自の教育プログラムとして継続する予定。



トヨタ自動車 岡本一雄 副会長

特別講演IIでは、トヨタ自動車の岡本一雄副会長から『大学院教育に期待するもの』と題して、エンジニアに求められる特性や、人材育成で大学院がいかに重

【シンポジウムのプログラム】

特別講演 I

「マサチューセッツ工科大学のインターンシップ」

マサチューセッツ工科大学
MIT-Japan プログラム
マネージング・ディレクター
Prof. Patricia Gercik (アメリカ)
研究機関、大学、企業による事例報告・講演

- ① 国立標準技術研究所 (NIST)
Dr. Ron B. Goldfarb (アメリカ)
 - ② レンヌ第1大学
Dr. Laurent Le Gendre (フランス)
 - ③ 韓国生産技術研究院 (KITECH)
Dr. Sung-Wan Kim (韓国)
 - ④ 國立中興大学
Prof. Chun-Liang Lin (台湾)
 - ⑤ 新日本製鐵株式会社 名古屋技術研究部
務川進氏
- 特別講演 II
「大学院教育に期待するもの」
トヨタ自動車代表取締役副会長
岡本一雄氏



特集

アジアからの留学生が見た日本人と豊田工業大学



今、日本は、東日本大震災はじめ福島原発問題、GDP世界第3位へ転落など、まさに国難ともいえる状況が続いている。この様な状況の中、多くの外国人が来日を中止、離日するニュースが報じられている。その一方で、現在本学にはタイ、ベトナム、台湾の3カ国から7人の学部・修士の学生が学んでいる。アジア各国からの留学生の目を通じて、現在の日本や豊田工業大学、更には本学の学生に対する印象はどの様なものか？留学生の皆さんから、リラックスした雰囲気の中で話を聞いた。

座談会参加者のプロフィール

- ①在籍大学(国名) ②研究室
- ③留学制度 ④滞在期間



Ornjira Raklikitpornさん

- ① 泰日工業大学(タイ) / 学部4年
- ② 熱エネルギーシステム
- ③ 留学生交流支援制度 (JASSO)
- ④ 2011/4/1-7/31



Monsicha Lertumpornpisalさん

- ① 泰日工業大学(タイ) / 学部2年
- ② フロンティア材料研究室
- ③ 留学生交流支援制度 (JASSO)
- ④ 2011/4/1-5/31



Sirinya Bunchusanongさん

- ① 泰日工業大学(タイ) / 学部4年
- ② 制御システム研究室
- ③ 留学生交流支援制度 (JASSO)
- ④ 2011/4/1-7/31

一まず、最初に皆さんの出身国と大学の紹介をお願いします。

Ornjira さん、Monsicha さん、Sirinya さん
タイは『微笑みの国』と呼ばれ、豊富なフルーツが収穫出来、料理の種類も豊富で食べ物がとても美味しい国です。また、自然にも恵まれ、美しさで有名なビーチや滝などがあります。旅行にも生活するにも大変素晴らしい国です。私たちの学ぶ泰日工業大学は、比較的になしく、名前からも分かる様に、日本との関係が深く、日本企業の出資を受けています。Engineering、Technology、Businessの3学部からなり、他の大学とは異なる特徴として、タイ語、英語、日本語の3言語での授業があります。

Pham さん
ベトナムは、鉱山資源に恵まれている国です。また、ベトナム人はフレンドリーでとても真面目に働き、未来に対して、大きな希望を持っています。発展途上のさなかで、毎日変化し続けているエネルギー国です。私の学ぶホーチミン科学大学は、科学分野において大変歴史のある大学です。研究プログラムも非常に多岐にわたっています。

Luong 君
Pham さんの言うとおり、ベトナムは豊富な鉱山資源と労働力に恵まれた元気な国です。私の通うハノイ工科大学は、工学分野の研究レベルの高さや教育方針について、評価の高い大学です。

Wu 君、Gao 君
台湾は、日本と同様に島国です。食事も美味しく、観光名所もたくさんあります。

親日的な人も多く、経済面でも密接な関係にあります。現在も発展を続けている元気な国です。

国立中興大学は、台湾のほぼ中央、台中市に位置し、生物学や農学の分野でも有名です。キャンパスはとても広いため、校舎間の移動には、自転車が必須です。また、緑も多く、とてもキレイなキャンパスです。

一工学分野を目指したきっかけを教えてください。また、母国での女子学生の理系への進路状況は如何でしょうか。

Sirinya さん
数学と電気に関心があり、そして何よりも自動車が大好きです。

父親が、中古車販売の仕事を営んでいるので、幼い頃から自動車に興味関心があり、自動車工学を学びたいと思う気持ちが現在につながっています。

Pham さん
私が、工学を専攻したのは、将来物質工学の研究者になりたいからです。

ベトナムでは、多くの女性が事務関係の仕事に従事しています。しかしながら、私は失敗と苦勞を重ねた結果たどり着いた新しい発見が、人々の暮らしを改善することの出来る工学に魅力を感じています。私の大学では、生物学や化学の学部では、女子学生の比率が多い様に感じます。その一方で、工学部は、やや男子学生が多いかもしれません。女子学生は、減多なことでは授業の欠席はせずに、男子学生以上に熱心に勉強をしています。

一毎日どのような生活を送っていますか。研究室の先生や雰囲気なども交えて聞かせて下さい。

Ornjira さん
研究室の指導教員である高野先生の授業や、英語の授業にも参加しつつ、研究室でCADソフトの操作などを行っています。研究室では、皆さんとても熱心に勉強します。また、学生同士の仲も良く、私にも大変親切にしてくれています。また、指導教員の高野先生には、困ったことがある時は、真っ先に相談させて頂き、多くのフォローを頂いています。まさに日本での父(兄!?)と言っても過言ではありません。

Monsicha さん
主に、ガラス構造と物性の相関やハイブリッドカーに関するテキストなどを读んだりしています。時には、関連した研究装置などの使い方を学んだりしています。自由時間には、ソフトボールやバスケットボールを研究室の仲間と楽しんでいます。私の指導教員である齋藤先生は、大変温和で、ユーモアに溢れた方です。研究室の仲間達も皆とても親切で、日常のサポートはもちろん旅行の計画などの相談にも乗ってくれます。

Sirinya さん
私の指導教員の成清先生も、大変優しい方です。ロボキャットと呼ばれる猫の動きを真似た4足ロボットの制御理論に関する勉強をPD、修士学生の方にサポート頂きながら進めています。先生の説明は、とても分かり易く、理解を深めるのに大変助かっています。

Pham さん
とても快適な毎日を送っています。現在、光ファイバーにおける新規フォトニッククリスタルファイバの素材について研究中です。充実した研究装置などに囲まれて、この研究を進められることに、喜びを感じています。もちろん、大石先生と研究室のメンバーは、研究に対する相当な熱意があります。私は、そんな皆さんを心から尊敬しています。

Luong 君
まだ来日したばかりですが、吉村先生はじめ研究室のメンバーはとてもフレンドリーで、充実した毎日をご過ごせそうで、楽しみです。

Wu 君
研究室での研究と授業に出席をする毎日です。週末には、名古屋観光にも出かけます。4月には、鶴舞公園にお花見にも行きました。大学の近くに地下鉄の駅もあり、大変便利です。中川先生の指導は、大変情熱がこもって

おり、気さくな研究室のメンバーに囲まれ、この研究室に加わられたことを、大変嬉しく思っています。私達は、ダブルディグリーの取得を目指して、豊田工大に来ているので、講義も研究も毎日必死です。

Gao 君
研究の合間には、研究室の仲間らとサッカーとバスケットなどをして楽しんでいます。齋藤先生はじめ、研究室の仲間が大好きです。豊田工大は、先生と学生がとても良い関係にあるように見えますね。

一研究室のコミュニケーションの状況はどうでしょうか。主に使用している言語、豊田工業大学の学生の英語力に対する印象も聞かせて下さい。

Ornjira さん
基本的には、英語で会話しています。時々、研究室の仲間が日本語も教えてくれます。豊田工大の学生さんは、皆英語が上手ですよ。

Monsicha さん
私の研究室でも、主に英語を使っています。たまに、日本語も使っています。豊田工大の学生さんの英語は、時々発音が聞き取れない時もあります(笑)。

Sirinya さん
皆さん、問題のない英語レベルだと思います。

Pham さん
私が、日本語を話せないで、いつも英語でコミュニケーションをとっています。ほとんどの学生は、英語がとても上手で、更に英語力を向上させようと努力しています。

Luong 君
英語で会話していますが、皆さんの英語力に問題は無いと思います。

Wu 君
英語と日本語が半々位でしょうか。一部の学生は、とても英語力があり驚いています。

Gao 君
研究室では、英語で話します。一方で、皆が日本語を教えてください。豊田工大の学生の英語力は、リスニングとリーディング能力は高いと思います。私の話すことは、ほぼ理解してくれています。たまに、聞き取り難い発音の人もいます。

一豊田工業大学の学生の印象を一言で。

全員
勤勉で賢く活動的、それでいてフレンドリーで親切。



Pham Kim Ngoc さん

- ① ホーチミン科学大(ベトナム) / 修士2年
- ② 光機能物質研究室
- ③ 留学生交流支援制度 (JASSO)
- ④ 2010/10-2011/9



Luong Xuan Dien 君

- ① ハノイ工科大学 / 修士2年(ベトナム)
- ② 表面科学研究室
- ③ 留学生交流支援制度 (JASSO)
- ④ 2011/5-2011/11



Wu Chien Pai 君

- ① 国立中興大学 / 修士2年(台湾)
- ② 電子情報分野研究室 (情報システム担当)
- ③ ダブルディグリー制度
- ④ 2011/4/1-2012/3



Gao Jian Fa 君

- ① 国立中興大学 / 修士2年(台湾)
- ② フロンティア材料研究室
- ③ ダブルディグリー制度
- ④ 2011/4/1-2012/3

「そもそも、日本で学びたいと思ったきっかけは。」

Sirinya さん

日本の文化が大好きだったからです。また、日本は技術面、経済面で世界のトップレベルでの近代的な国なので、その技術や研究開発状況を知ることが、自分にとって良い経験になると思いました。

Wu 君

学部時代には、情報工学における高周波増幅器について研究をしていました。修士では、安定的な発振器を作製するための研究を行っています。この分野における日本の研究状況を知りたいと思ったことと日本の文化をもっと学びたいと思ったからです。そして、台日両方の大学で修士学位を取得したいと思いました。

「日本に対する印象などで、来日の前と後で、違っていたことはありますか。」

Monsicha さん

日本人は、とても規律正しい国だと聞いていました。実際その通りでした。交差点では、赤信号の時には、たとえ車が来なくても、ルールを守っている点には、驚きました。タイでは・・・(笑)

Pham さん

日本は美しい国だと思っていました。来日してみると本当にその通りでした。道端に咲いている花さえ美しく、一層日本のことが好きになりました。

「母国と比べて、不思議に思った日本の習慣などはありますか。」

Ornjira さん

ゴミを処分する時の分類の細かさには、驚きました。可燃、不燃はもちろん資源ゴミも数種類に、また古紙などは別に回収するなどのルールに対してもキチンと守る日本人の真面目さと環境に対する意識の高さには、感心しています。最初は、ルールを覚えるのが大変でしたが、今では、すっかり慣れてしまいました。

Wu 君

寮での共同風呂には、驚きました。今では、すっかり慣れて毎日の楽しみの一つにもなっています。日本には、『裸の付き合い』という言葉があることも知りました。今では、その意味も身をもって理



立山にて



金閣寺を訪問

解しているつもりです (笑)。

「ホームシックにはなりませんか。」

Pham さん

全く無いと言えば、嘘になります。時には、故郷を思い出すこともあります。研究室の友人らと話をしていると、すぐに治ってしまいます。

「日本の料理は大丈夫でしたか。お気に入り料理を教えてください。」

Ornjira さん

名古屋の名物と聞いて、ウナギを食べました。香ばしくて、とても美味しかったです。

Gao 君

富山県に観光に行ったとき、お寿司を食べました。とても美味しかったです。でも、納豆はどうしてもダメです (笑)。

「今の日本の状況を見て、どう思いますか。」

Ornjira さん

大地震に端を発した原発事故に対して、世界中が注目しています。一方で、名古屋は福島県からも遠く離れており、特に、心配はしていません。日本には、この困難な状況を克服出来る力があると思っています。

Pham さん

日本人は、この災害を乗り越えるために、皆が団結して努力していると感じます。それほど、時間をかけずに、復興し、前よりも素晴らしい日本になると信じています。

「一訪して良かった場所、訪れたい名所などはありますか。」

Monsicha さん

名古屋城、黒川、鶴舞公園などに桜を見に行きました。また、友人達と、京都にもでかけ金閣寺や、清水寺、二条城などを見学しました。

また、研究室の齋藤先生と北八ヶ岳の白駒池にも行きました。湖面はまだ凍っており、その上には雪が積もりとても神秘的な感じがしました。雪の降らないタイで生まれ育った私は、雪を見るのが初めてでしたが、考えられない程、神秘的な光景で、生涯忘れることが出来ません。

Sirinya さん

栄にショッピングと、温泉、名古屋港水族館などに行きました。

特に、温泉は、体が温まり、リフレッシュが出来るととても良かったです。

滞在中には、名古屋城や、巨大なお風呂がある長島スパーランドに行ってみたいと思います。

Pham さん

三重県にあるなばなの里にチューリップを覗にいきました。ちょうど桜の時期でもあり、花の大好きな私には魅力的な場所でした。今後、滞在中に日本の首都である東京には、是非行ってみたいと思っています。

Gao 君

GW中に、京都と立山黒部にも行きました。立山黒部の寒さと雪の大谷の迫力には、驚きました。京都には、私のイメージする日本の姿があり、感動しました。

「今後の抱負、将来の夢を聞かせて下さい。」

Ornjira さん

豊田工大の大学院で勉強をしたいと思っています。そのために、奨学金を獲得しなければ・・・(笑)

Monsicha さん

将来は、材料を取り扱うエンジニアになり、国際的に活躍し、いつかは、自分の会社を持ちたいです。

Sirinya さん

タイで学部を卒業した後、修士学生として豊田工大の制御システム研究室で学びたいとの気持ちが強いです。豊田工大で学ぶことで、将来研究職を目指したい気持ちが強くなりました。

Pham さん

出来れば、設備や環境に恵まれている豊田工業大学で長い期間、研究を続けたいと思っています。光ファイバーに関する研究をより深く進めていきたいと思っています。



名古屋のシンボルしゃちほこ

なばなの里にて

Luong 君

博士課程に進学したいとの夢を持っています。

Wu 君

まずは、日本語を上達したいと思っています。それにしても日本語は発音が難しいです (笑)。もっともっと、先生方や研究室の仲間と会話をして、日本語のスキルを上げていきたいです。そして将来は、日本の企業、もしくは日本の事業所で働きたいと思っています。

「この留学で得たことを一言で言うと・・・」

Ornjira さん

広い視野です。

Monsicha さん

たくさんの友人と異なった価値観、考え方を学びました。

Sirinya さん

英語力が向上しました。日本語は、まだまだですが・・・

Pham さん

新しい分野へのアプローチ方法や研究スキルを向上することが出来ました。また、震災の中でも、前向きに未来への希望を持って行動する日本人の強さに感動しました。

Luong 君

たくさんの友達です。

Wu 君

研究室の指導教員である中川先生から研究の進め方を教えて頂いています。日本の文化と美しい景色は、生涯忘れることが出来ません。

Gao 君

日本人の勉強や研究に対する取り組み姿勢は、学ぶべきところが多くあります。



「座談会を終えて・・・吉村雅満 教授 (国際連携委員会委員長) から」

個々の学生の活発な研修状況は担当教員から聞いていましたが、この交流会にて各々が目をキラキラと輝かせて独自の意見を積極的に述べ、また他留学生からの情報に傾注している姿を目の当たりにしました。本学では種々の形で留学生を受け入れています。今後このような交流の場を増やし、留学生同士はもちろん、在学生も含めたグローバルなキャンパス作りに努めたいと思います。在学生には、ぜひ、留学生から良い刺激を得て、世界へと旅立って欲しいと思います。

各制度の説明

①ダブルディグリー制度

本学と連携大学との双方で、修士学位が取得出来る制度。現在、アリゾナ大学 (米国)、國立中興大学 (台湾)、ハンナム大学 (韓国) の3大学と基本協定を結んでいる。

②日本学生支援機構 (JASSO) 留学生交流支援制度

諸外国の大学などに在籍しながら、大学間交流協定などに基づき我が国の大学へ短期留学 (3ヶ月以上1年以内) する者を支援する制度。

毎号さまざまな分野で活躍する卒業生を紹介しています。

旧友の方々にとっては良い近況報告、学生・受験生の皆さんには、将来のキャリアプランと学生生活を考える機会になれば幸いです。今回は、学部第1期卒業生で、現在中国でご活躍中の石川 裕之さん（トヨタ車体株式会社）にご登場頂きます。ベルギーと中国の2カ国にわたるエンジニアとしての海外駐在で体験したこと、感じたこと、そして豊田工大で学ぶ先輩への熱きメッセージを頂きました。



Pick up!

いしかわ ひろゆき
石川 裕之さん

本学工学部制御情報工学科 1985年卒業（第1期）。在学中は、計算機システム研究室に在籍。現在は、トヨタ車体株式会社から出向したSFTM 長春豊越公司（2010年2月）にて、技術部副部長としてご活躍中。

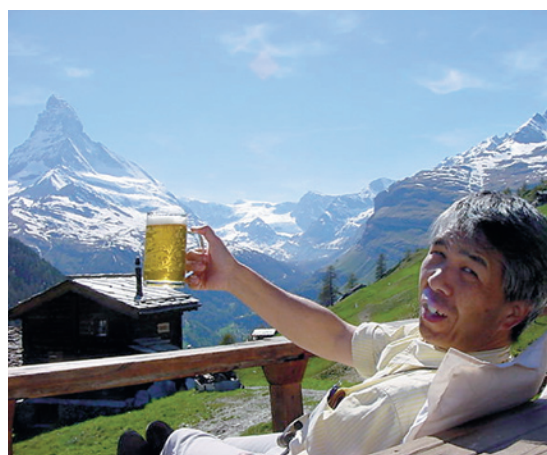
青天のへきれき、
初めての海外駐在
(ベルギー、2000年～2004年)

豊田工大では制御や情報工学を学び、卒業研究は計算機システム研究室で、機械語の命令コードや参照メモリーを追跡するアドレスタレーサーを作り、ソフトウェアの動作解析を行いました。卒業後は、CAD/CAM、ロボットや生産設備の制御、コンピューターで仮想的に車を試作するなど、情報関連の仕事に従事していました。この間に第一種情報処理技術者試験に挑戦の末に合格するなど、海外とはほぼ無縁の生活を送っていました。

ところが、海外出張でさえ2回しか行ったことがなかった私に、ある日突然欧州駐在が命じられました。42歳の時です。2000年から2004年まで家族と共にベルギーで暮らすことになりました。

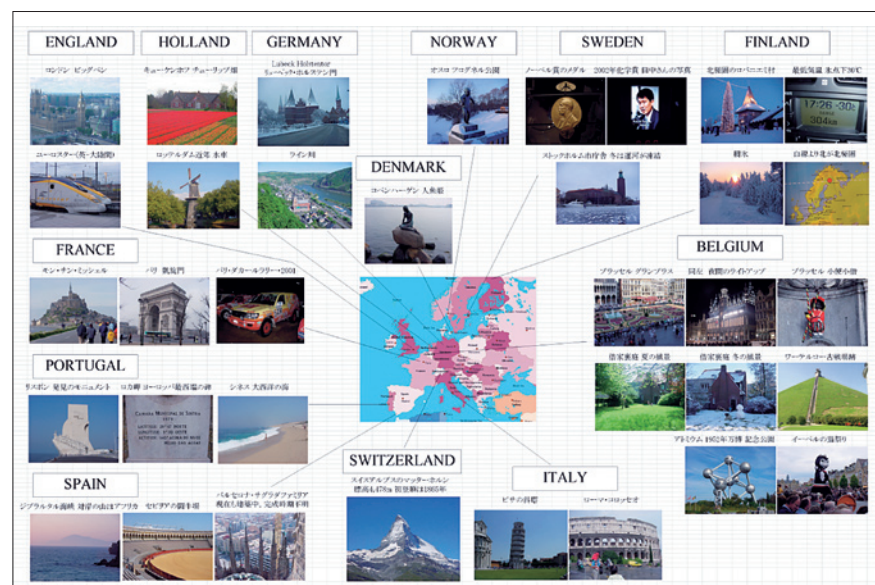
た。駐在員の仕事は欧州の技術や市場に関する情報収集であり、業務遂行上、英語は必須でした。しかし、当時の英語力は卒業以来使っていないこともあり、それはひどいものでした。出発までの半年間で英語をやり直しましたが、出発直前に受けたTOEICは595点。この程度の英語力では、到底全く歯が立たず、電話、会議、食事（横メシ）でも苦勞の連続でした。

また、業務上大量の英文を読み書きする必要もあり、これにも大変難儀しましたが、幸か不幸か毎日英語を使う環境だったため、その後TOEICは840点になりました。私のこの経験をもとに言えば、700点で英英辞典が使い、800点を超えたあたりから英字新聞が読めるようになり、ラジオのニュースも大体分かるようになった感じがします。しかし、800点を超えても、まだまだ外国人同士の会話は聞き取れませんし、映画を見ても分からないことが多くあります。欧州駐在をきっかけに、今も英語を勉強していますが、「英語学習に終わりなし」というのが私の実感です。



ベルギー駐在当時。マッターホルンを背景に命の洗濯（2004年6月撮影）

欧州駐在時代には、休みを利用して20数カ国を車で旅行することが出来たのも良い思い出です。北は氷点下32℃のフィンランドの北極圏から、南はアフリカが見える43℃の灼熱のスペイン南端のジブラルタル海峡まで、西はユーラシア大陸最西端のポルトガルのロカ岬から東はポーランドのアウシュビッツ強制収容所まで車で行きました。時速230kmまで出したドイツのアウトバーンを含め、4年間で15万kmを走り、車が本来持っている「走る」楽しさをこのときになって初めて知ったと言っても過言ではありません。またヨーロッパ各地の文化や美しい街並みに触れることも出来、良い経験になりました。



2000年～2004年のベルギー駐在当時。ドライブ旅行で20数カ国を周った。



SFTM 長春豊越公司 創立5周年の記念撮影。2010年7月18日撮影。最前列左から8人目、背が高く白色のシャツが筆者。両端の2台の車は当社で生産しているトヨタ・ランドクルーザー200。

2度目の駐在先は、
すさまじい成長を続ける中国
(中国駐在、2010年～)

2010年2月から二度目の海外勤務になり、中国吉林省の長春市に単身で来ています。今回は、トヨタ自動車と中国第一汽車との合併企業、SFTM 長春豊越公司への出向です。2012年4月の稼働を目指して新工場を建設しているため、赴任直後から多忙な生活を送っています。こちらの技術部では、①新製品の企画、②中国の自動車法規適合および認証試験、③部品の国産化の3つが主に担当する仕事になりました。従業員は1300名、このうち技術部は40名で私以外は皆中国人です。まさか50歳を過ぎてから中国語を習うことになるとは思いませんでしたが、環境が環境だけにやるしかない、と心に決め、中国語のピンイン、四声、簡体字など基礎から家庭教師について勉強しているところです。仕事の連絡やメールなど、出来る範囲なるべく中国語を使うようにしています。もちろん実用レベルになるにはまだ相当な努力が必要だと感じる毎日です。英語と同様、中国語も奥が深く、なかなか簡単なものではありません。

さて、中国でも携帯電話、パソコン、インターネットは当たり前、車の生産台数も今や世界一、高速道路、新幹線網も急ピッチで建設中と、国全体に勢いがあると感じています。

小学校一年生から毎日一時間、英語の授業が行われ、国も教育に相当な力を入れていることが分かります。更に、良い仕事に就くためには子供のころから勉強

して、一流大学に進学しなければならぬ点は、韓国や日本と同じか、それ以上かもしれません。例えば、合併相手の中国第一汽車系の会社では指定校制度を採用しており、211大学と言われる全国211校の重点大学の卒業生のみを採用すると言った状況です。更に、この211大学に入学出来るのも高校生17人に一人の割合だそうです。中国では人口が多いため、競争が激しく、重点大学に入ってから将来に備えて、本当によく勉強します。たとえば重点大学の一つ、吉林大学外国語学部日本語学科の学生は、朝7時から夜11時まで勉強しています。私の中国語の家庭教師は、この大学の修士1年生ですが、彼女は、ほぼ完璧に日本語をマスターし、森鷗外の舞姫などの小説を原文で読めることはもちろん、論文も日本語で書いています。理科系で

も同様に非常によく勉強しており、当社技術部のエンジニア達も総じて極めて優秀です。彼らの英語力も相当レベルが高いと感じます。

後輩の皆さんへ

中国の大学生のように大学時代に専門分野をより深く勉強し、その分野で実力をつけることは何よりも大切だと思います。ただ、将来どんな仕事を担当するのか先のことは誰にも分かりません。そのためにも専門分野に重点を置きつつも、語学や文化系科目にも目を向けて自らの可能性を探る、そんな学生生活が理想だと思います。二度と戻って来ない今この瞬間を大切に、貴重な学生生活を精一杯楽しんで下さい。



SFTM 長春豊越公司にて。2011年5月23日撮影。背景は工場の建物で向かって左端が技術部の事務所。

先端フォトンテクノロジーセンターシンポジウム開催



学生の説明を聞く豊田章一郎トヨタ自動車名誉会長
3月4日(金)大講義室において、文部科学省 私立大学学術研究高度化推進

事業 ハイテク・リサーチ・センター整備
事業『先端フォトンテクノロジー研究センター(センター長 大石泰文教授/2006年採択)』のシンポジウムを開催した。

当日は、疇地宏氏(大阪大学レーザーエネルギー学センター長・教授)による「高強度レーザーによる核融合と新しい科学の展開」、矢部孝氏(東京工業大学大学院 機械物理工学専攻・教授)による「マグネシウム文明の夜明け―石油に代わる新エネルギー資源―」と題した招待講演の他、これまでの5年間



研究成果を発表する大石センター長

にわたる研究成果の発表が行われた。

会場には、豊田章一郎トヨタ自動車名誉会長、瀧本正民 豊田中央研究所代表取締役をはじめとした本学と関係の深い企業からの来賓はじめ、学内外合わせ約100名の参加者が集まった。

中部地区ナノテクノロジー・ネットワーク総合支援事業の成果報告会開催



3月30日(水)大講義室において2010年度の成果報告会が行われた。

冒頭、独立行政法人物質材料研究機構理事・ナノテクノロジーネットワーク拠点長の野田哲二氏より、これまでの研究・支援の成果、今後の展望が述べられた。また、今回の東日本大震災の関係により東北・関東地方の関連機関にも影響が出ており、中部地方、関西地方の機関によるサポートを呼びかけた。報告会で

は、河田聡氏(大阪大学)「プラズモニクスの限界を超える」、末光真希氏(東北大学)「グラフェンデバイスの現状と課題」と題した2件の招待講演が行われた。各機関からの研究成果も発表され、本学からは大下 祥雄准教授(半導体研究室)による『太陽電池とナノ構造制御』と題した発表が行われた。

会場には、企業関係者をはじめ、学内外合わせ約100名の参加者が集まった。

*「中部地区ナノテクノロジー・ネットワーク総合支援事業」とは・・・

文部科学省「先端研究施設共用イノベーション創出事業」は、先端研究施設を共有化することによりナノテクノロジー研究開発を活性化しイノベーションを創出しようとするもの。2007年度から5カ年の計画で、全国13拠点26機関によりスタートした。同分野の研究開発で多くの研究者が必要としながら容易に使用出来ない高度な計測技術や極微細加工技術を研究者間で共有化することにより研究開発を活性化すると共に研究者同士の交流を育み、イノベーション創出につなげることを目的としている。

本学は、自然科学研究機構 分子科学研究所、名古屋大学、名古屋工業大学と連携して、中部地区のナノテクノロジー総合支援拠点を形成。研究開発を進める企業や他大学に対し、ナノ計測・分析、超微細加工、分子・物質合成の3領域において、超高磁場NMR・先進電顕の最先端機器利用、半導体超微細加工などを総合的に支援している。本学は、国内の大学としては、最大級の規模を誇るクリーンルームを中心に、シリコンプロセス技術を基盤に、化合物半導体、カーボン系、有機物などの薄膜構造形成や各種ナノ構造体の形成、評価などの支援を行う。

受賞

①学内

受賞日	表彰機関・団体	受賞名	受賞者	受賞理由
3/14	豊田奨学基金	研究業績賞	三田誠一教授(情報通信研究室)	『確率に基づく情報処理の基礎研究とその実装置への展開』に対して
3/14	豊田奨学基金	研究奨励賞	松田志典 ポストドクトラル研究員(制御システム研究室)	『新たなロバスト安定解析ツールStability Feelerの提案とその応用』に対して
3/22	豊田奨学基金【学部】	基金賞	松尾菜実子さん(量子界面物性研究室)	学業成績・人物共に特に優秀なため
3/22	豊田奨学基金【修士】	基金賞	松岡佑樹君(表面科学研究室)	学業成績・人物共に特に優秀なため

②学外

受賞日	表彰機関・団体	受賞名	受賞者	受賞理由
12/18	日本セラミック協会	東海支部学術研究発表会 最優秀講演賞	鬼頭千尋君(光機能物質研究室)	『微細構造テーパーテルライト光ファイバによる広帯域スーパーコンティニューム光の発生』に関する発表に対して
12/18	日本セラミック協会	東海支部学術研究発表会 優秀講演賞	三好祥平君(光機能物質研究室)	『光ファイバの誘導ラマン散乱を用いた光信号処理の研究』に関する発表に対して
3/1	電気学会	東海支部長賞	小高加菜さん(制御システム研究室)	学業成績・人物共に優秀なため
3/22	日本機械学会	島山賞【学部】	澤田貴裕君(マイクロメカトロニクス研究室)	学業成績・人物共に優秀なため
3/22	日本機械学会	三浦賞【修士】	宇都宮仁君(熱エネルギーシステム研究室)	学業成績・人物共に優秀なため

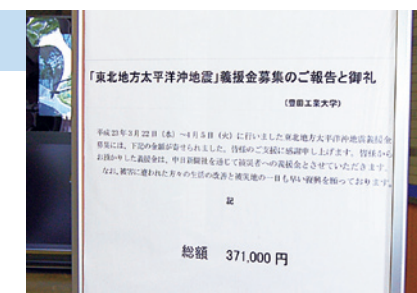
豊田達郎理事長より豊田奨学基金業績賞を授与される三田誠一教授



東日本大震災に対する本学の対応状況

3月11日の地震発生直後より全学生および全教職員に対し安否確認を実施。本人および実家などへの被害はなしと判明した。また、3月22日(火)~4月5日(火)の15日間にわたり、本学来訪者、

全教職員および学生に対する義援金の募集を実施。同期間中に合計371,000円の義援金が集まり、中日新聞社会事業団を通じて被災地への寄付を実施した。



待望の中国語授業の開講

～愛知大学との大学間連携の一環～



かねてより学生からの開講の要望が高かった中国語授業が、本年度より開始となった。講師は劉平非常勤講師(愛知大学孔子学院副院長)、主たる対象は学部2年生。昨年4月に、大学間連携協定を締結した愛知大学との連携具体化の一環。定員30名に対して、履修希望者は81名。授業の質を維持するため、やむを得ず抽選を実施。最終的に、当初の予

定より7名を増やした37名が受講することになった。授業初回となった4月11日(月)、ほとんどが初学者とあって、初めて接する中国語の独特の発音・声調形態に戸惑いながらも、真剣な顔で授業に臨んでいた。

タッチパネル付き電子掲示板の設置

～豊田工業大学の概要がより分かり易く～

3月下旬、正面玄関入り口に、本学紹介用の電子掲示板が設置された。52型表示用の液晶ディスプレイと19型液晶の操作用タッチパネルから成り、利用者毎に必要な情報を選択する方式。来訪者へのサービスとして大学の活動を簡潔に紹介するもので、大学概要、大学紹介DVD、大型研究センター、研究室、学内

案内図などを利用することが可能。特に研究活動については、1号棟3階の展示室と連動して研究広報に力を入れている。内容は、順次、充実をはかる予定。設置間もない4月上旬には、来訪者のみならず、新入生が教室などを探すために学内図を利用する姿も見られた。



電子掲示板を利用する来訪者

人事紹介

【退職】

2011年3月31日付で、次の先生方が退職されました(いずれも4月1日付で、特任教員に就任)。



大澤 潤准教授
(電子情報分野研究室
フォトニックデバイス担当)



恒川 好樹教授
(材料プロセス研究室)



東 正毅教授
(設計工学研究室)



山口 真史教授
(半導体研究室)

【新任】

Chunzhao Guo 助教
<31歳>
(情報通信研究室)
<経歴>

2007年	中国科学技術大学(工学博士)
2007~2008年	大阪大学特任研究員
2009~2011年	本学PD研究員
2011年4月	本学助教に就任

<主な研究分野>

主な研究分野は、コンピュータビジョン・パターン認識・機械学習・ロボティクスです。現在は、安全性・効率性の最適化を目的としたインテリジェントビークルの研究と、環境・エネルギー問題を重視する将来の交通機械システムに必要な不可欠な車々間協調、路車間協調の研究を実施しています。

【昇格】

奥宮 正洋 教授
<53歳>
(材料プロセス研究室)

<経歴>

1985年	名古屋大学工学研究科博士課程前期課程修了
1994年	名古屋大学 博士(工学)
1985~2011年	本学助手・講師・准(助)教授
2011年4月	本学教授に昇格

<主な研究分野>

主な研究分野は、熱処理、金属表面改質、 casting、焼結などの材料・加工プロセスです。現在は、環境・エネルギー問題を重視した新しい金属熱処理に関する研究と超音波やプラズマを有効利用した金属表面改質に関する研究を行っています。

『大学ランキング 2012 (朝日新聞出版)』で高評価

4月14日に発売された大学ランキング 2012年版(朝日新聞出版)において、教育、研究、運営面などについて多くの項目で高い評価を受けた。同誌は、全国750大学の国公私立大学を多角的な項目によりランク付けした画期的な進学情報誌。



本学のランクインした項目 (一部抜粋)

- 外部資金(奨学寄附金、受託・共同研究費): 教員一人あたり第3位 (私立大学では、第1位)
- 文部科学省私立大学等経常費補助金(教員一人あたり助成額): 1位
- 初年度納付金(工、理工学部): 1位
- 全国の大学学長による評価(研究面での制度・成果で注目の大学): 25位
- 全国の大学事務局長による評価(事務職員が優れている): 24位

売店「天樹 TENJU」オープン1周年

昨年2月1日にオープンした売店「天樹 TENJU」が、1周年を迎えた。店舗を運営するトヨタ生活協同組合のご協力により、1周年を記念したセールが2月1日・2日の2日間にわたり開催された。通常商品の値引きや、ミスタードーナツ・モスバーガーの特別販売、豪華商品の当たる抽選会が行われ、大勢の学生・教職員が詰めかけた。

抽選会は、300円以上の購入で1日目は先着200名まで、2日目は先着300名までに豪華景品が当たる(空クジなし)とあって、何度か足を運ぶ参加者や、抽選結果に一喜一憂する光景が見られた。



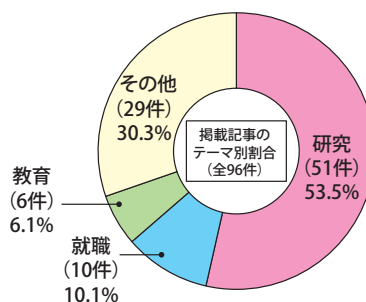
<天樹スタッフからのコメント>

年間を通してよく売れるのはドリンク類。中でも「紅茶花伝」をはじめ、ミルクティーが人気です。数あるお菓子類の中でも「ブラックサンダー」は圧倒的に人気が高く、中にはまとめ買いをする人もいます。インスタントラーメンや文房具よりも、お菓子やアイスの売れ行きが好調です。授業の合間のブレイクに、天樹が一役買っているのでしょうか。



編集後記

昨年の本学の記事掲載件数は、確認出来た分のみで96件(昨年52件)。ここ数年では、突出した件数と言えます。その内訳は、研究51件、就職10件、教育6件となっています。今回のADVANCEでは、国際化を一つの切り口に留學生座談会、大学院GPシンポ、海外でご活躍の卒業生のご紹介など、本学の取り組みの一端をご紹介させて頂きました。引き続き、国際産業リーダーの育成を目指した本学の取り組みをご紹介していきたいと考えています。(橋本)



お便りをお寄せ下さい。



『ADVANCE』に関するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。
また、卒業生の方の近況、在学生の活動、研究成果などについての情報提供もお待ちしております。

(本誌に関するご意見・ご感想・情報提供・お問い合わせは)
学校法人トヨタ学園 法人事務局 渉外広報室
TEL 052-809-1764 FAX 052-809-1721
E-mail s-koho@toyota-ti.ac.jp

【CALENDAR】

- 7月22日 修士前期定期試験(-29日)
- 7月25日 学部前期定期試験(-8月2日)
- 7月31日 修士学外実習(-9月25日)
- 8月 3日 夏期休業期間(-9月11日)
*教職員夏期一斉休暇は8月6日-17日
- 9月17日-18日 天樹祭(大学祭)

【OPEN CAMPUS SCHEDULE】

- 7月30日 大学説明会(名古屋駅前 ウィンクあいち)
14:30-16:30(予約不要)
- 8月21日・27日 オープンキャンパス 11:00-16:30(要予約)
- 9月17日・18日 オープンキャンパス 13:00-14:30(予約不要)
*オープンキャンパスなどに関することは、0120-3749-72(入試準備室)まで

2011年6月30日発行 編集・発行：学校法人トヨタ学園 法人事務局 渉外広報室
〒468-8511 名古屋市中台区久方二丁目12番地1 ☎052-802-1111 (代)

